



議会だより

こころえ

No.109

2015.4.17発行

3月定例会

- 平成27年度予算 P.2
- 当初予算質疑 P.4
- 平成26年度一般会計補正予算 P.5
- 新体制紹介 P.6
- 常任委員会報告 P.7
- 一般質問 6名 P.9
- わたしのひとこと P.15

川西一 池部久美子さん
川上一 甲斐 大史さん

第16期 九重町議会議員

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成27年4月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809

メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

持続可能な町をめざし新年度予算決定

本定例会は、3月3日から19日までの17日間開催されました。

議案35件、諮問1件、発議1件を慎重に審議しました。

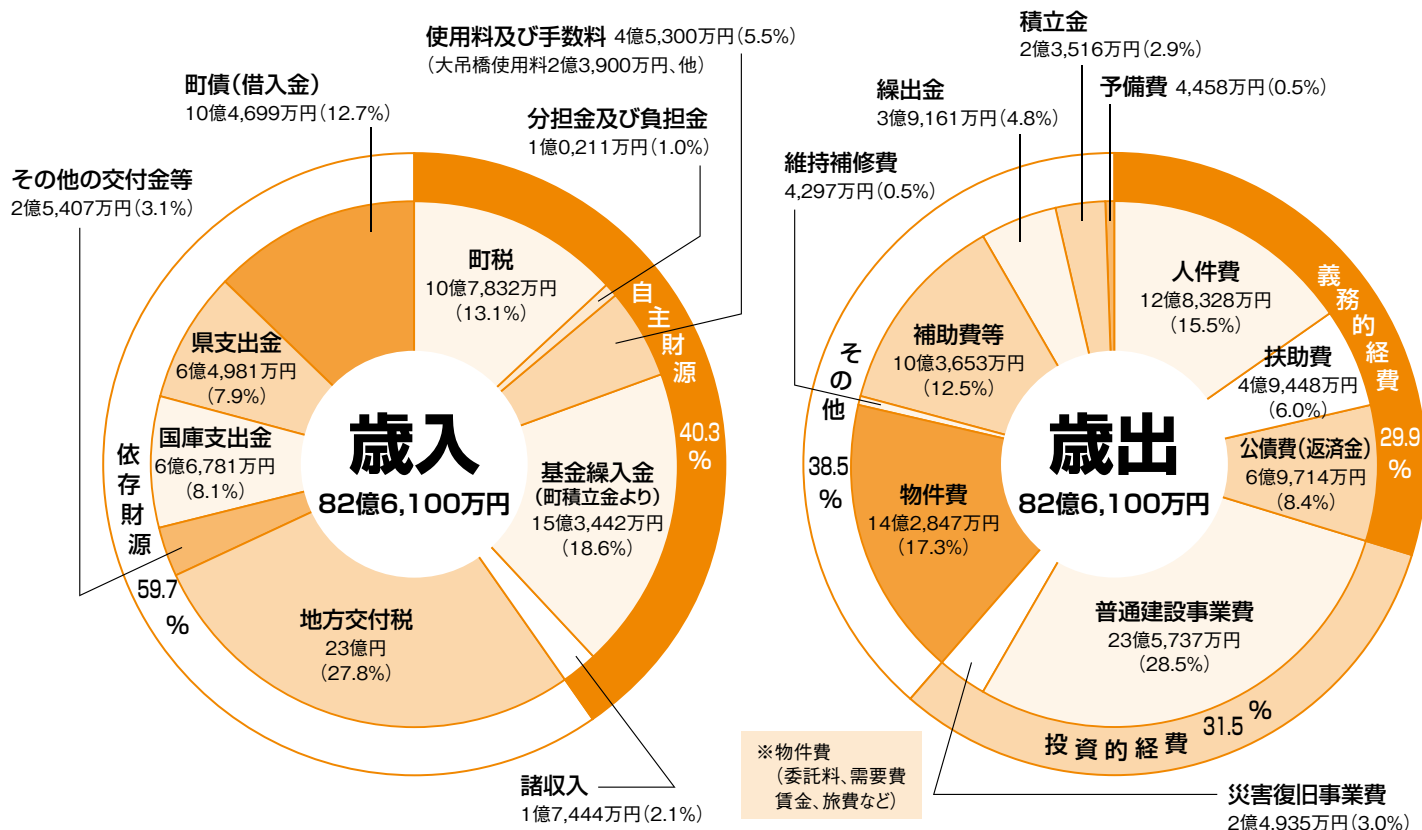
過去最大

平成27年度一般会計当初予算

82億6,100万円

総合こども園(仮称)施設整備事業等の実施に伴い

前年度比12億4,900万円(17.8%)の増



特別会計予算総額 35億9,770万6千円

国民健康保険特別会計 18億4,128万9千円
水道特別会計 1億0,869万7千円
飯田高原診療所特別会計 7,330万3千円

介護保険特別会計 14億2,008万7千円
介護サービス事業特別会計 2,645万7千円
後期高齢者医療特別会計 1億2,787万3千円

平成27年度 一般会計当初予算 主要な事業

- | | |
|---|--|
| ▶ 幼保一体化施設事業
(仮称)九重総合こども園
..... 9億95,368千円 | ▶ 有害鳥獣被害防止対策補助金
..... 3,456千円 |
| ▶ 地区協議会補助金(4地区)
..... 17,100千円 | ▶ 次世代を担う園芸産地整備補助金
..... 10,093千円 |
| ▶ スクールバス(10台)運行費業務委託料
..... 59,147千円 | ▶ おもてなしトイレ(龍門他)整備工事費
..... 5,000千円 |
| ▶ 旧南山田中学校解体工事費
..... 45,000千円 | ▶ 小松地獄園地整備実施計画委託費
..... 5,000千円 |
| ▶ 緑陽中学校体育館天井落下防止事業費
..... 17,000千円 | ▶ 商工会振興費補助金
..... 5,000千円 |
| ▶ 南山田地区ふれあい交流施設設計委託
..... 19,300千円 | ▶ 空き家改修補助金
..... 5,000千円 |
| ▶ 富迫集会所建設工事(設計等含む)費
..... 31,030千円 | ▶ 高齢者世帯リフォーム支援事業補助金
..... 3,000千円 |
| ▶ 小規模集落対策補助金(宝泉寺・後河内・野倉)
..... 3,800千円 | ▶ 小中学校ネットワーク機器更新
..... 10,584千円 |
| ▶ 玖珠美山高校(新設校)支援補助金(九重40%)
..... 4,000千円 | ▶ こども医療費助成金
..... 18,625千円 |
| ▶ スクールバス待合所設置工事費
..... 4,320千円 | ▶ 九州選抜高校駅伝第20回記念大会補助金
..... 1,000千円 |
| ▶ 原木椎茸種駒購入費助成
..... 15,000千円 | ▶ 温泉かけ流しサミット補助金
..... 500千円 |
| ▶ 有害鳥獣駆除捕獲報奨金
..... 18,720千円 | ▶ 観光協会補助金
..... 14,200千円 |

当初予算質疑

将来的な財政計画は

Q 歳入総額のうち、借入金と基金の取り壊しによるものが歳入の30%を超えている。財政は大丈夫か。

Q 源泉かけ流しサミット補助金について。

A 全国温泉郷14ヶ所にてサミットを実施している。

A 過疎計画の見直しをした事業計画であり、財政規律は大変であるが遵守していく。

Q 大吊橋の職員は一名となっているが、対応は出来るか。

本年は宝泉寺で、実行委員会を立上げ取り組み。一ヶ所10〜20名の参加で、全国より200名を計画しており、町の補助金は50万円を予定している。

A 昨年度と同じく一名である。

Q 夢クラブの内容と具体的なものは。

Q おもてなしトイレの場所について伺う。

A 夢クラブとは地域総合スポーツクラブで、事務局を文化センター内に置いて各種スポーツの育成等に努めている。

A 龍門の滝トイレと、恵良駅のトイレ改修を予定している。

予算額160万円については事務局の人件費である。

人事案件 2件

人権擁護委員の推薦に同意



麻生 夕子さん
下旦

前人権擁護委員の辞任により、麻生夕子さんを人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



友松 哲郎さん
松本

前固定資産評価審査委員会委員が任期満了となることから、その後任に友松哲郎さんを選任することに同意しました。

常任委員会付託以外の議案2件 可決

九重町いきいきふるさと若者定住促進条例の一部改正

出産祝い金について、現行の「第1子 1万5千円、第2子 1万5千円、第3子以降 15万円」を、「出生した子1人につき、3万円を給付する」と条例改正するものです。

理由は、今回、26年度補正予算により子宝助成（第3子以降）を実施することから、第3子以降の見直しを行ったためです。

この条例の施行は、平成27年4月1日からですが、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に出生した子のうち、第3子以降については、10万円を給付します。

九重町温泉館・ふれあいプラザの指定管理者の指定

公の施設である九重町温泉館・ふれあいプラザの管理に関する業務を行う者の指定です。

指定管理者	住 所	九重町大字菅原
	名 称	夢・グループ企画
	代表者	会長 日隈 博美 氏
指定管理期間	平成27年4月1日から平成29年3月31日まで	



平成26年度 一般会計補正予算(第9号)

補正額 1億1,139万円増額
補正後の額 73億6,800万円

歳入

・国庫支出金	5,948万円	・県支出金	2,391万円
(地方創生先行型交付金 3,231万4千円、消費生活喚起・生活支援型交付金 2,469万7千円、その他)		・基金繰入金	2,800万円
		(ふるさと創生事業基金)	

歳出

地方創生先行型交付金事業費 7,037万円

・インフルエンザ予防接種費用助成	202万円	・おおいた子育てほっとクーポン活用	350万円
生後6か月以上中学生までを対象に予防接種費の一部、一回につき1,000円助成		就学前児童のいる家庭に子育て支援サービスに利用できるクーポンを継続的に配布	
・買物弱者支援	20万円	・育児助成金	600万円
買い物支援を実施する事業者に対して、燃料代や機械損料等の一部を助成する。補助率1/2、上限20万円		子育て世帯の中で、育児休業給付の制度を受けられない方に、育児助成金を給付する	
・移住者居住支援	1,690万円	・周遊バス利用者助成	140万円
空家活用のため、移住者の適正契約による不安解消や円滑な入居、入居においての改修、移住奨励を行う		周遊バスの利用チケット2,000円の購入に対し、町内旅行券500円券2枚を付加する	
・子育て応援	481万円	・観光Wi-Fi設置	280万円
出産後に必要な子育て関連用品の購入助成、1歳未満児対象。購入代金の1/2、又は上限のいずれか		民間観光施設・宿泊施設における無線LAN環境の整備に対して助成する。補助率2/3、上限5万円	
・子宝助成金	1,891万円	・その他 4事業	1,382万円
第3子以降の子どもを監護する保護者に、月額、未就学児に3,000円、小学生4,000円、中学生5,000円、高校生1万円を助成する			

地域消費喚起・生活支援型交付金事業費 3,900万円

・プレミアム付き商品券事業	2,500万円	・町内旅行券事業	800万円
商工会により商品券を発行する。委託料500万円、商品券事業補助金2,000万円。プレミアム率20%(県10%、町10%)		町内宿泊施設等で使用可能な旅行券を発行する。500円券10枚つづりを2,500円、4枚つづりを1,000円	
・プレミアム旅行券販売	600万円		

観光・防災Wi-Fiステーション整備事業費 550万円
予備費 347万円減額

※上記の事業実施は27年度

議長就任にあたって

議長 日野 康志



この度、九重町議会第25代の議長にご推挙いただきました。身に余る光栄に感謝いたしますと共に責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、今年度、九重町の予算は、一般会計82億6千万円。特別会計36億円。総

予算額は118億6千万円と過去最大の予算額となり、増額の主な要因が、来年度開園予定の「九重町立総合こども園（仮称）」の建設に係る費用です。

総合こども園については、場所や事業費に関してなど、これまで数多くの議論が行われてきたところです。が、通園対策や運営に関する課題もあり、今後も慎重に協議していく必要であると思います。

本格的な少子高齢化社会の到来を受け、今後の人口

動向を見据え次世代を担う子どもたちに自信をもって受け渡せる九重町を創って行くためにも妥協の無い議論が必要と考えておりますし、そのためにも町議会の果たす役割は大きいと感じております。

地方を取り巻く環境は厳しい状況であり課題は山積みですが、十分な議論を重ね、町民皆様の代表として、その負託と信頼に応えられる議会でなければなりません。そのためにも、どうぞ皆様方も議会の傍聴にもお越しいただき、様々なご意見、ご感想をお聞かせいただきたいと願っております。

末筆ではありますが、町民皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

新しい体制となり 委員会構成はこうなりました

議長 日野 康志
副議長 大津留敏加

総務建設産業 常任委員会

委員長 有吉 富生
副委員長 菅原 美好
委員 日野 康志
委員 小川 克巳
委員 坂本 憲治
委員 佐藤 博美
委員 藤原 三治

議会運営委員会

委員長 小川 克巳
副委員長 藤原 三治
委員 井上 里子
委員 土井 眞一郎
委員 有吉 富生
委員 佐藤 明郎

教育民生観光 常任委員会

委員長 佐藤 明郎
副委員長 増田 裕子
委員 大津留敏加
委員 井上 里子
委員 土井 眞一郎
委員 佐藤 太治

議会広報 特別委員会

委員長 大津留敏加
副委員長 佐藤 明郎
委員 井上 里子
委員 小川 克巳
委員 藤原 三治
委員 有吉 富生

総務建設産業常任委員会 審査報告

議案
8 件

可決された案件

組織機構の変更に伴う
関係条例の制定

組織機構の見直しにより、危機管理室を危機管理情報推進課と改める。

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育の支援体制の確立・充実を図るために子育て支援課を新設するものであり可決しました。

九重町道路占用及び
占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の一部改正に伴うもので、町の地価により、5級地に区分されるために占用料の額が変更となるものであり可決しました。

九重町行政手続条例の制定

法律の施行に伴い、現行の規則を廃止し、行政手続法の趣旨に則り、条例として制定するものであり可決しました。

九重町消防団条例の
一部改正

消防団員の年報酬を改正するものであり可決しました。

職員の給与に関する
条例の一部改正

国家公務員の給与制度の見直しに準じて職員の給与を一級の全部、初任給を除き平均2%最大4%程度の引き下げを行うものであり可決しました。

職員の給与の特例に関する
条例の全部改正

国家公務員の平均給与額を100とした、指数の平準化に向けて職員の給与の減額を行うもので1年間1級0・5%、2級2%、3級及び4級2・5%、5級3・5%、6級4%、7級6%のカットをするものであり可決しました。

職員の勤務時間、休暇等に関する
条例の一部改正

職員が、育児や家族の介護のために必要と認められる場合、一日の勤務時間の長さを減らすことなく、早出、遅出出勤が出来るようにするもので公務員で制度化がされており、仕事と家庭の両立支援をするものであり可決しました。

九重町営急傾斜地崩壊対策
事業分担金徴収条例の制定

傾斜地の規模により、公共事業又は県単事業として大分県が実施しているが、県営事業における負担金をなくし、受益戸数5戸未満の県営事業の対象外を新たに町営事業として実施するために地元負担金10%の分担金徴収条例の制定をするものであり可決しました。



消防団特別点検



公共事業の急傾斜地対策事業

教育民生観光常任委員会 審査報告

議案
10件

教育委員会制度が変更

議案第16号、17号、18号について

可決された案件

介護保険料見直しと
軽減措置

議案第12号について

平成27年度から3年間の介護保険料を、基準額で月額、5,200円から5,930円に改定し、又所得の少ない被保険者の介護保険料の軽減措置を新設するものであり可決しました。



べっぴんぞろいの甘水夢サロン

[教育委員会制度]

旧	新
代表者：教育委員長	代表者：教育長
教育長：主に事務処理を担当	※教育委員長は廃止されます
選出方法：委員会による互選	選出方法：町長が任命
特徴 町執行部とは独立	特徴 責任の所在を明確にし、対応の迅速化

議案第13号、14号、15号について

町指定の介護サービス、介護予防サービス、介護の各条例の一部を改正、共に介護保険法の改正に伴うものであり、サービスの見直しに伴う基準の改正を行うものであり可決しました。

教育委員会制度が変更

議案第16号、17号、18号について

地方教育行政を改正する法律が施行されることに伴い、現在の教育委員長が廃止され、教育長が教育委員会を代表することとなり、選出も、教育委員の互選から、首長が任命することとなることから、関係する条例の制定を行うものであり、可決しました。

議案第19号、20号について

町立飯田こども園の運営を開始することに伴い、必要な条例の制定を行うことや、町立飯田幼稚園と町立木の花保育園を削除するものであり可決しました。

議案第21号について

法律の施行に伴い、九重

[町立幼稚園費]

現行

一律 4,800円

改正後

生活保護世帯：無料
町民税非課税世帯：2,300円
その他：4,800円

町の幼稚園費を、現状の一律4,800円から、生活保護世帯については無料、町民税非課税世帯は、2,300円に引き下げるものであり、利用者負担の軽減となることから可決しました。



仲良く登園（東飯田こども園）

ずばり町政を問う

6名が一般質問

- ◆ 移住促進・具体策を……関係団体とPRに努める
- ◆ 結婚支援の拡充……新しい補助の追加
- ◆ 菅原バイナリー収益は……基金への積立て



菅原 美好

● 移住促進 定住促進

菅原 JAは福岡に10を超える直販所を持ち、集客力もある。今後は直販所を有効活用し移住を促すPRを展開するなど、具体策を取るべきではないか。

町長 JA、玖珠町と協議、連携して、PRに努めたい。

菅原 空き家の有効活用で、住宅改修に地元木材を利用するなど助成する仕組みは考えられないか。

町長 今まで、家の所有者に、改修助成はなかったが、今回町単独で、所有者が、空き家バンクに登録する事を条件に助成を始める。地元木材使用については産業振興の面から検討する。

● 婚活支援の拡充を

菅原 町内独身男性に対する、出会いの場の拡充について、婚活サポートを行う



6月運用開始予定の菅原バイナリー

民間企業などが発足すれば助成か、補助をできるのか。

町長 22年の国調で、九重町の25才から45才の男性未婚率が44・3%である。

様々な支援策を行っているが、今回「大分出会い応援センター」への登録の補助を追加した。

民間の活用については、国の支援も検討しながら、考えていきたい。

● 菅原バイナリー発電 収益の活用法

菅原 新たな財源となる、

熱料金を、町有施設の整備基金（積立）に充てる予定だが、子育て、定住、いろんな形で使える新しい基金を作るべきでは。

町長 27年度についてはハード事業の財源に予定しているが、今後は住民福祉サービスの向上に充てる基金があるので、新たな基金を作らずとも、そのための基金への積み立ても検討する。

◆結婚支援もっと効果的に

.....積極的に支援したい

◆農業後継者支援対策を

.....やる気を育てる人材育成に取り組みたい

藤原 三治



●人口問題の根源 結婚問題にもっと支援を

藤原 今までの様々な取り組みの成果が見えない。民間力も活用しながら、花婿の情熱の向上など、指導・支援も必要ではないか。



成立が期待される大分出会い応援センターの見合い風景

町長 未婚率は、女性も増加傾向にあり、町も結婚講演会を実施して出会いの場や

イベントを行っており、民間にも補助金や奨励金も用意している。NPO法人の大分出会い応援センターの入会金、お見合い資金の補助を考えている。

●後継者が育つ 農業にするために

藤原 地方創生が求められる中、このままでは農業だけでは生活できず後継者も育たない。新たな特産品の開発、食品加工に向けて、部署を用意し、人材を導入してはどうか。

町長 今まで四季サイダー、ポーク丼、夢バーガーに取り組んできたが、今年度も商工会に特産品商品化に向けて60万円交付している。県も食品産業企業会を作り、県の施設で体験・指導が無料で受けられる。町民に利用して頂き、技術的にめどが付き、何が作りたいか決まったうえで要望が出れば、前向きに対応したい。



町の行なったおもてなし講習会

●観光客の満足度調査を

藤原 満足度を上げ、リピーターを作るために、宿泊施設だけでなく、あらゆる施設やバスなどで、観光客や住民の声をアンケート調査で聞き改善していくべきではないか。

町長 満足度の必要性を危惧し、おもてなし研修を行ったが参加者が少なかった。具体的にアンケート調査は行なっていないので、観光協会・商工会を通じて実行してみたいと考えている。

●ふるさと納税で 町のリピーターを

藤原 全国的に加熱しているふるさと納税、綾町は9億円、平戸市で14億円。町も早急に取り組み、お礼の品を通して農業の支援や観光の誘客に活用すべきではないか。

町長 町も匿名を含めて35万円頂いている。納税の趣旨も考慮しながら、3割程度のお返しを計画している。

その他投票率の向上について質問しました。



「またのお越し」心のこもったお見送り！

佐藤
明郎



- ◆雇用問題……………積極的に進める
- ◆観光振興……………担当課と協議、指示する
- ◆教育現場の政治的中立守れ………三位一体守る



教育現場の政治的中立を守れ

佐藤 何度も質問して来たが、企業誘致、雇用拡大に対し、情報発信に止まり、具体的なやる気を感じられない。

町長 玖珠町が、県の東京、大阪事業所に出かけ、誘致活動を行っているので、新年度は、協力して同行したい。

佐藤 誘致が非常に厳しい中、競合する他の自治体との優位性、企業の要望にどう答える、求める人材の確保、様々な材料を用意して望まなければ、現実性に欠ける。

町長 我町の優位性は、ケーブルテレビ回線と考える。人材の部分については、地

元企業説明会を行っているが、高校生の地元志望が少ない傾向もみられる。今後、関係部署と協議していきたい。

佐藤 雇用拡大は重要議題と町長も答弁している。

企業誘致に必要な様々なデータを煮詰めていくということを確認してよいのか。

町長 そういうことを、常に念頭に置き、進める。

●観光キャンペーン期待大とは言うが

佐藤 7月～9月に行う、JRと連携したキャンペーン、執行部の期待は大きいようだが、取り組みは。

町長 昨年9月、事前の宣伝活動を県が行い、我町の散策コース2ヶ所は非常に好評であり、早めに活動をして来た。

佐藤 既存の施設紹介でしかない。他の自治体は、キャンペー

ンに併せ、特別な観光プランを用意して、滞在型を目指している。

我町の課題、宿泊者増加に結びつく企画すらない。

町長 その面の取組みは少し遅れていると思う。町の独自色を出していきたい。

●散策コース地元対応が不十分

佐藤 町が大々的に宣伝している、飯田のオルレコース、地元の方々が迷惑している。対応はできたのか。

町長 様々な不安要素がある一方、人気のあるコースでもあり止める事も出来ず、厳しい状況にある。

佐藤 宣伝は行う、地元住民への対応ができていない。これは行政の責任である。

町長 地元の協力は必要である。担当課と十分協議し指示をしていきたい。



宿泊につなげたい観光客

●教育現場政治的中立を守れ

佐藤 今回、学校現場における責任の所在を明確にするため、教育長を町長が任命する事となった。

子どものため、政治的中立は、守れるのか。

教育長 国でも一番、議論された点である。教育委員会、教育長、町長、三位一体で調整していく。

佐藤 本当にできるのか不安である。教育長に再度、中立性を本当に守れるのか。

教育長 町長と教育長、立場を踏まえながら、町民にも公開して、しっかり守る。

◆もっと女性の力を発揮して よりよい町づくりを

.....女性のパワーをまさに感じているところ



増田 裕子

●男女共同参画

増田 町政に女性の声を反映し、もっと女性の力を発揮してよりよい町づくりを、との思いで立候補した。これから女性や若い人がどんどん増えていくような議会を作っていくのも自分の仕事のひとつと考えている。

女性の共同参画について、具体的な数値目標を掲げ長期的に取り組む必要がある、行政管理職の女性登用について計画はあるか。

町長 議会に女性が2名になり、今日も傍聴に女性が多く、パワーを感じる。現在女性管理職は2名、適材適所で積極的な女性登用を考えているが具体的な計画はない。

●役場の組織再編と体制

増田 課やグループが、次々と名前も変わりわかりにくいのが、長期的な計画は。

町長 10課30グループ目標で



県内一周駅伝応援大賞に輝いた商工会女性部

現在13課35グループ。年度に応じた改革してきたが、見直しも必要かと思う。

増田 職員数については

町長 自律推進計画での目標134名、現在154名。

増田 職員数が少なすぎ、各々ががんばっているが限界の状況。臨時職員へのしわ寄せの上に成り立つ行政改革・計

画を抜本的に見直すべきでは。

町長 現在若手職員が多くいびつな年齢構造で一番大変な時。民営化等進めつつ、この体制で頑張っていきたい。

地域おこし協力隊
について積極的な
活用を

増田 応募人数と採用基準は。

町長 6名の応募で2名採用内1名辞退。1名追加募集。態度、意欲等特に動機やコミュニケーション能力を重視した。

増田 今までの移住促進と違って、町が委嘱する取り組み。総務省の大きな助成を九重町流に有効活用すべき。目標と条件を明確に設定するよう三点を提起する。

一、三年後には九重町に定住し、起業する。

二、各地区協議会に積極的に関わる。

三、居住地域の行政区など共同体に所属し生活する。

来年は各地区に1〜2名の配置で計画的に動けるような取り組みにつなげてほしい。

町長 同様に考えており、集落の支援にも積極的に関わっていただく。

佐藤
博美



- ◆ 玖珠美山高校支援策の効果は 緑陽中61%進学
- ◆ ふるさと納税のお礼充実に地元産品を 新年度より3割をお礼に



部活に頑張る地元高校生

● 放課後児童クラブ 受入は適切か

佐藤 女性の社会進出に重要な放課後児童クラブは、面的にも受入体制は整っているのか。野矢小学校の対応も考えられないか。

町長 4地区ともに、新年度予定人数をみても、面的には問題ない。地元の受入状況は、施設に支援員2名以上を置き、1人は専門員ということとなる。野矢地区は今、話し合いが行われている。

佐藤 将来は、地域ふれあいセンターに施設を移す計画だ

● 美山高校への 支援効果は

佐藤 郡内に高校を将来的に残すため、両町で1千万円の支援。効果はあったか。

教育長 郡内中学全体の志望率は51・8%、緑陽中は61%という状況である。支援の効果は、現段階では不明だが、地元高校への進学率が伸びていることは事実である。

佐藤 地元高校の存続は、家族の経済的負担にもかかわる。生徒たちへの呼びかけも含め、地元校志望者増への意

が、学校施設を活用した方が良いのではないか。

町長 地域交流センターは皆さんの触れあいの場ということなので、地域の皆さんと交流できればと考えている。

気込みはどうか。

教育長 多くの生徒が地元校に進学するように、2年次は、高校とつしよに内容を検討していきたい。

● ふるさと納税 地元産品でお礼充実を

佐藤 都市と農村の格差是正のために始まった、ふるさと納税。他の自治体は、お礼の品で、大きく機能している。我町の産業は非常に厳しい。この制度で地元産の発信をすべきだ。

町長 お礼が過熱しており、国も苦言を呈しており、一定の節度が必要である。しかし、特産品も考え、新年度から、納税額の3割は、お礼に充てることとした。

佐藤 理屈ではなく、町の将来がかかっている。町の活性化の手段として検討すべき。

町長 情報発信の強化は、しっかりと取り組んでいかねばならないが、情報発信と、ふるさと納税の問題は、切り離して考えていきたい。

その他

● シカからシイタケを守れ

町長 現在、水田で取り組んでいる防護柵は、森林内は、想定していない。被害及び対策について、少し調査したい。

● 町の100%出資会社の設立とは

町長 企業進出が非常に厳しい状況から、若者の雇用確保という視点から、検討を進めていく。



鹿の進入を防ぐ防護ネット

◆奥野定住促進住宅の整備事業計画は 27年度に実施設計 28年度以降に建設



井上 里子

井上 当初予算に、奥野定住促進住宅事業費として、実施設計委託料と公有財産購入費等が7,954万円計上されているが、建設事業費全体でどのくらいを予定しているのか。合わせて、事業規模と建設スケジュールをお聞きする。

町長 27年度に地質調査と実施設計を完了し、28年度以降に建設する予定である。

1階は貸店舗、2階3階は住宅という方針を出している。延べ床面積が、1,200平米を超えるぐらいになり、外構工事まで含めると、3億円を上まわる建設費になると想定される。

井上 今、事業費、事業規模、建設スケジュール等を質問してはじめてそれがわかったが、こうした事業はその全体像を、事業実施前に、まず整備事業計画で示して、その後に事業実施すべきではないか。

町長 本事業の概要が決まったのが最近のことなので、今

後、将来に向けて、計画の方向性をつけていきたい。

● 貸店舗 どう利用するのか

井上 一階部分の貸店舗には、地元商店の経営に影響が無く、地域の活性化につながる店がはいることが望まれるが、町としては、どのように利用する考えか。

町長 一階部分は、「地域おこし協力隊」の事務所と町100%出資の株式会社事業所、残りを店舗にする。店舗には町内の事業者に入ってもらおう。これについては、商工会等と協議し、地元説明会も行おう。

● 買物支援事業 経営が成りたつ支援を

井上 小規模集落の買物弱者対策として、町は県の補助事業を受けて、移動販売事業を実施している。移動販売車を県の補助6/8、町1/8、事業者1/8、合わせて625万6千円の予算で購入。購入時に必要



移動販売を利用する住民

な諸経費50万円余りは事業者が負担し、24年11月から移動販売を実施していて、利用者は大へん助かっていると思うが、事業者の経営状況は実状を聞いてみると大へんきびしいようである。新年度、町は事業者に、運行費の一部助成（補助率1/2、上限20万円）を行うことにしているが、それでは支援が足りないと思う。町は、定期的に事業者の経営実態を把握し、適切な支援を行うべきである。人件費の助成ができればと思うが、まず、どういう支援が必要なのか、十分検討

討して対応してもらいたい。

町長 26年度まで、事業者の経営実態の把握と、特段の支援はしていない。

聞き取り調査で、40万円程度赤字ということなので、1/2補助を考えているところである。今後は定期的に事業者と経営状態を十分話し合い、対策を考えていく。

人件費の補助となると、買物対策だけでなく、限界集落での高齢者の見守り等もやってもらっている中で、そういう組み合わせの中で対応できれば、その方向で今後考えていきたい。

井上 青壮年層の人口減少対策として、新年度、特に力を入れて取り組むことは。

町長 未婚男性の結婚支援と空屋改修による移住者の受け入れに力を入れていく。もう一つは、人口減少をゆるやかにしていくには、健康寿命を延ばしていくことが非常に重要なので、定期検診の受診率向上を図る。

あたしのひとこと

私にとつての地域おこし

川西一

池部久美子さん



私には年に一度、約一ヶ月間熱中するものがあります。それは「宝泉寺素人芝居」です。8年前に娘と観に行った時、突然娘が、

「私も出てみたい!」

と言いました。座長の岐部さんに尋ねたところ

「子どもが出る話もあるので是非来てみて下さい。」

と言つて下さり、

「子どもの稽古について来られるでしょう、お母さんも出演してみませんか?」

との言葉に軽い気持ちで参加する事にしました。それが昨年で

七回目を数えるまでになりました。

それまでは、家事・子育て・仕事に追われ、自分の趣味など持つ事はありませんでした。今ではすっかり芝居にはまっています。

続けてこれたのは家族の理解はもちろんですが、芝居仲間との連帯感がある事でしようか。

皆それぞれに家庭や仕事を持ちながら、稽古の時期に集い、一つの作品を力を合わせ作り上げて行きます。時には深夜におよぶ事もあります。そうして本番をむかえた後の達成感はいかげのないものとなりました。

また、観に来られた地域の方から、

「今年も良かったよ!来年も楽しみにしています。」

と声を掛けていただいたり、遠方より泊りに来られているお客様から、

「宝泉寺の芝居を毎年楽しみに来ているんですよ!」

と言われると、また来年もがんばろうと言う気持ちになって来ます。

結婚と同時に九重町の住民に

ふるさとに帰省町づくりで全力で

川上一

甲斐 大史さん



昨年の7月、実家である宝八幡宮を継ぐため15年振りに、家族(子ども2人)よりも一足先に帰ってきました。平成16年に日

なつて、28年目となりました。

親類も友人も一人もいないところからのスタートでしたが、今ではたくさんの方と知り合い、毎日楽しくすごさせていただいています。

「地域おこし」として『宝泉寺素人芝居』が始まったとの事、少しでもお役に立てていればいいなあと思っています。

本の総氏神である伊勢神宮のご鎮座する三重県伊勢市の皇學館大学を卒業し、神職資格を取得しました。その後フランス料理専門店で、約10年じつくり修行させて頂きました。その間、伊勢市にて市民団体、事業者、行政など様々な分野の人々が街づくりをする伊勢市の事業、伊勢活性化プロジェクトに参加してきました。

帰省してからの、濃厚な日々を過ごす中で、自身の望む料理の道にも進むことが出来、更に本年度より「九重ふるさと館」の館長という大役をおおせつかりました。九重町のキャッチフレーズの中に、「日本一の田舎づくり」と言う言葉があります。そのためには、九重にある豊富な資源を活かしつつ、元気で活気のある素晴らしい田舎づくりを、商工・観光・農業・更に食育を通して教育や福祉の分野にまで包括的に進めていけたらと思います。今後は、「九重ふるさと活性化協議会」を通じて、町づくりに微力ですが全力を注ぎたいと思います。議会、行政を含めた皆様のご協力を、宜しくお願い致します。

傍聴へ どうぞ

次回は6月です

野上村警防団第一分団（現九重町消防団4の8）
にて玖珠郡内No2のガソリンポンプ搬送車
購入（中古）入魂式の雄姿 昭和15年



撮影場所：旧野上小学校 写真提供：日野爾郎さん

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集 後記

◆新体制になり1回目の定例会は、3月3日から19日までの17日間、新人議員2名と元議員1名を加え13名で、今年度予算を可決したところです。

一般会計予算は、九重町発足以来の82億6,000万円、昨年比17・8%増です。主な増額は九重町総合こども園（仮称）と日田消防署建設事業費です。特別会計35億9,770万6千円の合計118億5,870万6千円になります。本会議で6名による一般質問、常任委員会では各議員より多くの質疑が交わされています。

議会は、住民の皆様に取り替わり行政のチェック、議論をする場であり方針を決定する場です。今後も皆様のご意見をお聞かせください。

大津留 敏加

・広報委員長 大津留敏加
・副委員長 佐藤 明郎
・委員 井上 里子
・委員 小川 克巳
・委員 藤原 三治
・委員 有吉 富生